

# ごみ減量の心得

## 大量生産・大量消費はもつたない！ 循環型社会をつくろう

現在、私たちの生活は、便利でものに満ちあふれています。そして、その陰で大量のエネルギーも使われています。

ものや便利さと引き替えに、大量の資源を消費し地球環境の劣化を進めているとは分かっていても、今の生活を急に変えることはなかなか難しいものです。

ですから日常の身近なことから少しずつ、はじめてみましょう。

これからの生活には、ものを大切にし、限りある資源を有効に使い、リサイクルする循環型社会の形成が必要不可欠なのです。



### 買い物の心得

- 一、マイバックを持参、レジ袋の使用を減らすべし
- 一、割りばし、スプーンはなるべくもらわない
- 一、本当に必要なものだけ買うべし
- 一、使用する機会が少なければ借りるといふ手も覚えておくべし



### 商品選びの心得

- 一、缶よりはびん、リーターナブルびんを利用すべし
- 一、飲み物は水筒を利用して、ペットボトルや缶を減らすべし
- 一、詰め替え商品を選ぶべし
- 一、使い捨て商品は使わない
- 一、包装の少ないものを選ぶべし

リサイクルは地球にも埋立地にも  
財布にもやさしい！



町で回収した埋立ごみの中に、缶、ビン、ペットボトル、その他プラスチックなどを目にする場合があります。洗って分別して資源物として出せば有料袋を買わないで済むし、その分埋立地が長く使え、何より、大切な地球資源を守ることができます。

埋立ごみを減らすうえで最も大切なことは、資源物をしっかりと分別すること。面倒がらずに実践することがリサイクルの輪をつなぐための第一歩です。

お問い合わせ

税務住民課住生活グループ  
4-2511 内線135

## 調理の心得

- 一、食べ切れる分だけつくるべし
- 一、賞味期限切れを防ぐべし
- 一、食材は使い切るべし
- 一、残ったおかずはすぐ冷凍すべし
- 一、キッチンペーパーなどは極力使わない
- 一、生ごみはコンポスト容器や生ごみ処理機を利用すべし



## 「ありがとう」と「もったいない」の気持ち

着られなくなった服、はき古した靴、壊れた電化製品など、どれも廃棄物処理場にごみとして捨てられていきます。

一軒一軒の家から出されたごみは、集まると膨大な量となって廃棄物処理場に運ばれています。ごみとは、もともと地球の大切な資源からつくり、皆さんと生活をともにしたものです。「もったいない」の気持ちで長く大切に使い、捨てる時は「ありがとう」の気持ちで送り出しましょう。

## 使用の心得

- 一、家電製品は修理して長く使うべし
- 一、古くなった家具はリメイクして使うべし
- 一、必要のないものは、必要としてくれる人に使ってもらうべし



## 今あるものを出来る限り利用する

これが、ものにも資源にも一番やさしい行動ではないでしょうか。最後の最後まで利用することが、資源に対する恩返しなのです。



### 過剰包装は過剰サービス

ごみ減らしをしていると、その他プラスチック類がなかなか減らなくて悩むことはありませんか。つめかえ商品を利用したり、量り売りの店で買いものをしてなかなか減らないときは、過剰包装の影響が考えられます。

たとえばかつお節のパック。1回分くらいが1パックになっているものがありますが、大袋に入ったものの方がごみが少なくてすみます。クッキーやせんべいも1つ1つ包装されていないほうがごみも少ないはずですよ。

つまり、メーカーの過剰なサービスが過剰包装を生み出し、結果としてごみを増やしているのです。過剰包装も過剰サービスも全部なくして、その分価格が安くなった方がよいと思うのですが、皆さんはどう思いますか？

